

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	学校名 千葉県立桜が丘特別支援学校 対象 全児童生徒 人数 169名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他(部活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ、生涯スポーツを通して目標に向かって仲間と共に努力することやスポーツや身体を動かすことへの親しみや楽しさを感じながら興味関心を高める。 ・スポーツを通じて、地域や他校との交流の中で互いに支え合い、互いを尊重し合える心の育成につなげる。
5 取組内容	<p>○陸上部を中心に、様々なスポーツ大会に出場する取り組みとした。</p> <p><事前> 週2日(大会によっては週4日)の部活動の時間を利用して、それぞれの種目ごとにグループをつくり、下記の大会を目標として年間を通して練習に取り組んだ。種目は、50m走(独歩、車いす)、100m走(車いす、レーサー)、投てき、スラロームがある。また、大会によっては2、5km(生活用車いす)、5km(レーサー)と距離が長いものもある。年度初めと大会ごとに一人一人目標を立て、目標に向かって練習を積み重ねた。目標に向かって、走り方、投げ方、車いすの操作の仕方等を職員や仲間と考え、少しずつ試行錯誤しながら取り組んだ。</p> <p>練習では、種目の練習だけでなく、まずは日々の生活態度(報告・連絡・相談)を大切に、日々の練習に取り組んだ。</p> <p><当日> ①千葉県身体障害者スポーツ大会・千葉県障害者スポーツ大会(5月) 千葉市内、千葉県内多くの選手が出場。この大会は、全国障害者スポーツ大会出場につながる大会でもある。大きな会場の雰囲気緊張しながらも練習の成果を発揮することができた。また、他校の選手の様子を見たり、仲間の応援をしたりしながら、学校とは違う大会の雰囲気を感ずることができた大会となった。</p>



②はばたき陸上大会（10月）

東京都障害者スポーツ協会主催の大会。1年の中で2つ目の目標とする大会。5月の大会から反省・課題を見つけ、修正・改善しながら練習を積み重ね、その成果を発揮することができた。

③日産カップ追浜チャンピオンシップ（12月）

全国から出場者が集まった大会。2.5kmの部（生活用車椅子）、5kmの部（競技用レーサー）がある。レースの中では、車いす陸上の日本記録保持選手や、パラリンピック出場経験のある選手と一緒に走ることができ、選手をより身近に感じることができた。

出場生徒の中には毎年この大会を楽しみにしている生徒、大きな目標に掲げている生徒もいる。当日は、性別や年齢で分けられた部の中で優勝を果たした児童から自己ベストタイムを更新した生徒、完走を目指して自分のもつ力を全て出し切り完走することができた生徒など、一人一人の生徒が自分の目標と向き合い競技に取り組むことができた大会となった。



<事後>

大会終了後には、毎回振り返りを行い、良かった点や今後の課題を見つけ、次の目標を設定することを繰り返し行った。

また、5月の大会を受けて、10月に行われた「全国障害者スポーツ大会～笑顔つなぐ愛媛大会～」に、スラロームとソフトボール投げの千葉県代表選手として本校から1名選ばれ、大会出場を果たした。今後、1年間のまとめとして、校内記録会を実施する予定。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・種目への興味・関心・知識などを深めることができた。 ・大会やスポーツへの興味・関心を高めることができた。 ・仲間との交流が広がる機会、経験の幅を広げる、視野を広げる良い機会となった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日はもちろん、練習の中でも常に目標をもって取り組むための働きかけを行うようにしていた。 ・競技の練習だけでなく、日々の生活態度について第一に大切にしているようにした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・大会参加に当たっては、多くの職員を必要とするため、学校内での協力体制が欠かせない。 ・安全に練習が進められるように、人的・物的に環境整備を行っていく必要がある。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度と同様、大会への積極的な参加を計画していく。